下水汚泥肥料利用率

下水汚泥発生重量ベースで、肥料利用されたものの割合

(令和5年度実績)

都道府県	肥料利用率	順位	都道府県	肥料利用率	順位	政令指定都市	肥料利用率
北海道	35 %	14	三重県	5 %	39	札幌市	0 %
青森県	43 %	9	滋賀県	1 %	45	仙台市	0 %
岩手県	14 %	31	京都府	5 %	38	さいたま市	0 %
宮城県	7 %	35	大阪府	2 %	42	千葉市	0 %
秋田県	27 %	17	兵庫県	4 %	40	東京都区部	0 %
山形県	65 %	6	奈良県	0 %	47	横浜市	0 %
福島県	41 %	11	和歌山県	22 %	20	川崎市	0 %
茨城県	11 %	33	鳥取県	22 %	21	相模原市	-
栃木県	8 %	34	島根県	90 %	4	新潟市	21 %
群馬県	40 %	12	岡山県	26 %	18	静岡市	26 %
埼玉県	1 %	43	広島県	25 %	19	浜松市	51 %
千葉県	1 %	44	山口県	16 %	28	名古屋市	0 %
東京都	0 %	46	徳島県	6 %	37	京都市	0 %
神奈川県	2 %	41	香川県	16 %	29	大阪市	0 %
新潟県	20 %	25	愛媛県	13 %	32	堺市	-
富山県	22 %	22	高知県	34 %	15	神戸市	2 %
石川県	17 %	27	福岡県	20 %	23	岡山市	46 %
福井県	39 %	13	佐賀県	92 %	3	広島市	8 %
山梨県	33 %	16	長崎県	54 %	7	北九州市	0 %
長野県	16 %	30	熊本県	43 %	8	福岡市	31 %
岐阜県	17 %	26	大分県	7 %	36	熊本市	19 %
静岡県	43 %	10	宮崎県	66 %	5		
愛知県	20 %	24	鹿児島県	97 %	2		
			沖縄県	100 %*	1		
						全国	15 %
						政令指定都市	4 %

(注) ・下水汚泥肥料利用率は汚泥発生時乾燥重量ベースの値。
 ・都道府県の下水汚泥肥料利用率には政令指定都市分を含む。
 ・下水汚泥肥料利用率は小数点以下1桁を四捨五入。(* は四捨五入の結果100%と記載しているもの。)

下水汚泥肥料利用率 [%]

$$= \frac{\left(\text{①肥料}^{\ast 1} \text{として利用された汚泥量}^{\ast 2} + \text{②リン回収の対象及び液肥製造の原料とした汚泥量}^{\ast 3} - \text{①と②で重複する汚泥量} \right)^{\ast 4} \left[\text{乾燥ベース}^{\ast 5} \right]}{\text{発生汚泥量 [乾燥ベース]}}$$

- ※1 : 土壌改良材、人工土壌を含む。←
- ※2 : コンポスト、乾燥汚泥、炭化汚泥、消化汚泥、脱水汚泥、燃焼灰等←
- ※3 : 燃焼灰等の固体からのリン回収の場合は、リン回収に利用した燃焼灰等の、脱水ろ液等の←
 液体からのリン回収の場合は、リン回収に利用した脱水ろ液等を抽出した汚泥の、←
 液肥製造の場合は、原料として利用した下水汚泥の発生汚泥量ベースの重量とする。←
- ※4 : 民間企業等への委託による肥料化を含む。←
- ※5 : 発生汚泥時の DS 量←